

フロントスポイラー（ワイド幅車用）

取付要領書

この度は、フロントスポイラーをお買い上げいただき誠にありがとうございます。
本書は、フロントスポイラーの取り付け要領について記載してあります。
取り付け前に必ずお読みいただき、正しい取り付けを行ってください。

品番

52001-37360

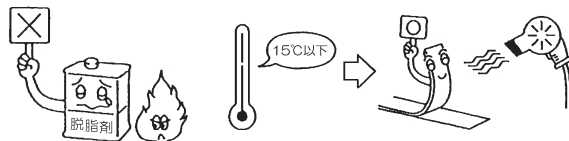
取り付け上の注意事項

- この取り付け要領書では、安全な作業をしていただく為、特にお守りいただきたいことを次のマークで表示しています。
- ⚠ **警告**…取り扱いを誤った（または守らなかった）場合、死亡または重大な障害を生じる可能性があるものに対する注意内容。
 - 👉 **注意**…注意事項を守らないと車両部品や装備品が損傷する可能性がある作業。
 - 👉 **アドバイス**…スピーディに作業するうえで作業者に知っておいて欲しいこと。

- (1) 車両部品取りはずしに際して、クリップ等の紛失や混乱がないように部品毎に整理して、復元する際、間違えないように配慮してください。
- (2) 本書で指示した以外の車両部品を取りはずさないでください。
- (3) 傷付き防止のため、車両部品の脱着や製品を取り付ける際は、作業前に保護シートを準備し、作業は必ず保護シートの上で行ってください。また、車両部品及び製品に傷を付けないよう充分注意してください。
- (4) 取り付け面に汚れやほこり、油脂分が付いていると、脱落や剥がれの原因になります。作業は必ず、ほこりのたたない屋内で行い、貼り付け面を脱脂剤等で充分に脱脂清掃してください。
- (5) 製品を一度貼り付けてから剥がしますと、粘着力が低下しますので圧着後は剥がさないでください。
- (6) 取付後 20 分以内は雨、水等で濡らしたり、洗車しないでください。
- (7) 作業を行う前にバッテリーの（－）側ケーブルをはずしてください。
- (8) バッテリー復元作業終了後に、車両機能部品の初期化が必要な部品があります。作業終了後には必ず初期化作業を行ってください。

特に注意していただきたい事

- 脱脂及び両面テープ接着部を脱脂剤等を使用して拭く際、火気を近づけないよう充分に注意してください。
- 気温が 15℃以下での作業は、両面テープの粘着力が低下し脱落、剥がれの原因になります。両面テープ部と取り付け面をドライヤーで温めてから接着作業を行ってください。



配線は

- コネクターは本体を持てはらず



- コネクターは確実に接続する



- 無理に引っ張らない



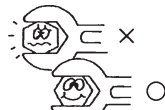
取り付け完了後は

- 取りはずした車両部品は確実に復元する

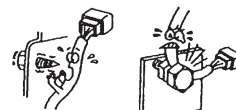


部品の取り付けは

- 寸法にあった工具を使う



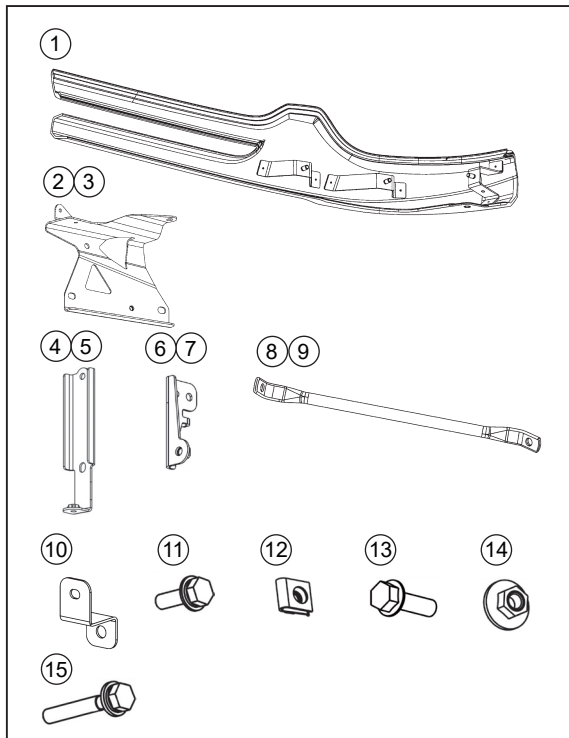
- 裏側に注意し、ハーネス噛み込みに注意する



⚠ 警告

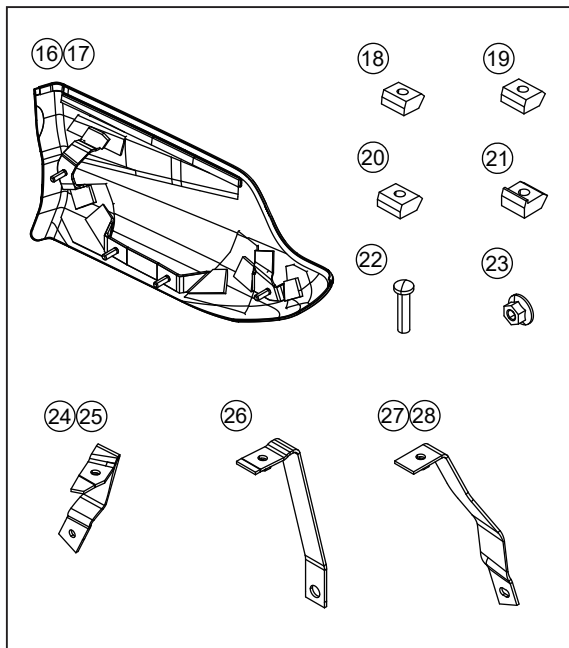
バッテリー接続中に作業を行う場合は、エアバッグセンサー等に衝撃を与えないよう充分注意してください。

構成部品



バンパー下部

No.	品 名	個数	品番
①	スポイラー	1	52102-37100
②	ブラケット A 右	1	52130-37050
③	ブラケット A 左	1	52140-37050
④	ブラケット B 右	1	52125-37050
⑤	ブラケット B 左	1	52126-37050
⑥	ブラケット C 右	1	52671-37100
⑦	ブラケット C 左	1	52672-37100
⑧	ブラケット D 右 (FUP*レス車専用)	1	52133-37080
⑨	ブラケット D 左 (FUP*レス車専用)	1	52134-37030
⑩	ブラケット E 左右共通 (FUP*付車専用)	2	52115-37020
⑪	ボルト (M6 L = 21)	6	SZ119-06091
⑫	ナット M6	2	90179-06278
⑬	ボルト (M8 L = 25)	8	91511-80825
⑭	ナット M8	10	90179-08241
⑮	ボルト (M6 L = 40)	2	91671-80640

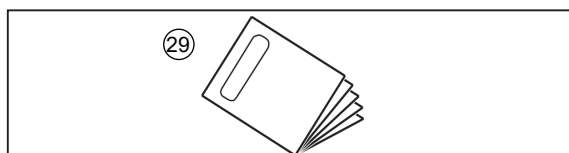


ステップ下部

No.	品 名	個数	品番
⑬	ステップカバー 右	1	61415-37110
⑭	ステップカバー 左	1	64146-37010
⑮	プレート R0, L0 (左右共通)	各 1	57037-37030 右 57038-37050 左
⑯	プレート R1, L1 (左右共通)	各 1	
⑰	プレート R2, L2 (左右共通)	各 1	
⑱	プレート R3, L3 (左右共通)	各 1	
⑲	ボルト (M6)	8	
⑳	ナット (M6)	8	
㉑	ブラケット F 右	1	
㉒	ブラケット F 左	1	
㉓	ブラケット G (左右共通)	各 2	
㉔	ブラケット H 右	1	
㉕	ブラケット H 左	1	

共通

⑳	取付要領書	1	本書
---	-------	---	----



※本製品の取り付けには、別品番のプライマーが必要です。

必ずプライマーを使用してください。

※FUP とはフロントアンダープロテクターの略で
GVW 7.5t 以上の車に装着されます。

品 名	個数	品 番
PAC プライマー K-500 (接着強化剤)	1	08867-00230

取り付けに必要な工具等

- | | | |
|--------------|----------|------------------------|
| 1) 一般工具 | 5) ウェス | 9) 受け皿 |
| 2) クリップリムーバー | 6) 保護テープ | 10) ハサミ |
| 3) 脱脂剤等 | 7) 保護シート | 11) 緩み止め剤：ロックタイト263相当品 |
| 4) トルクレンチ | 8) スケール | 12) ドライヤー（外気温15℃以下の場合） |

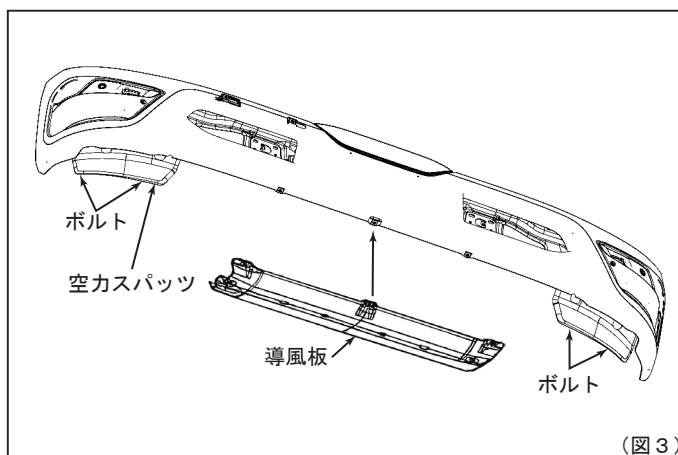
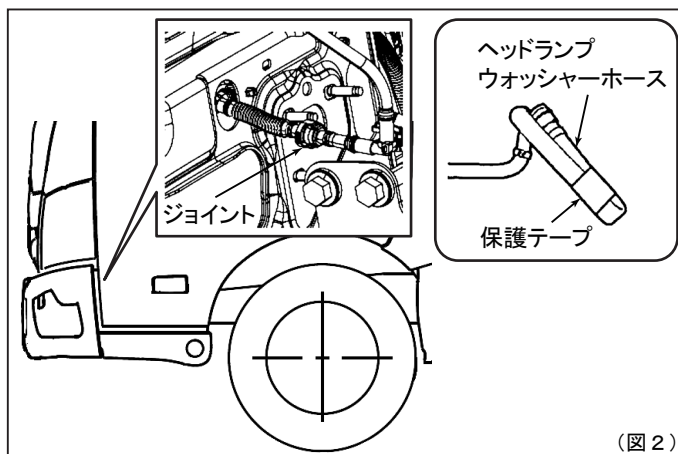
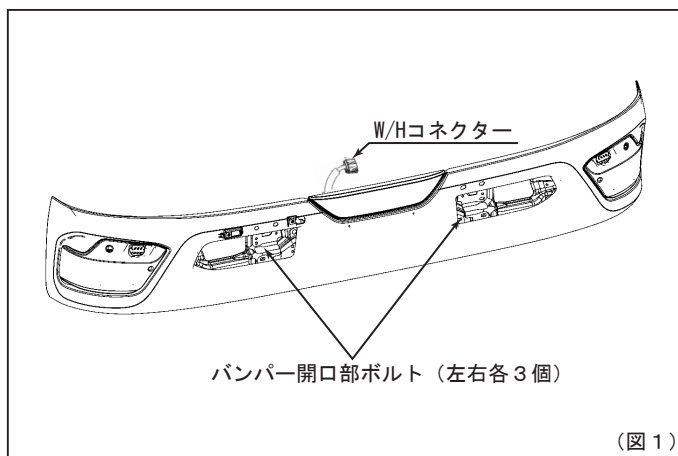
取り付け上の注意事項

フロントスポイラーを取り付ける際、バンパー本体・キャブに傷を付けないように注意してください。

始業点検

フロントフォグランプ、インテリジェントクリアランスソナーシステム等、電気システムの作動確認を実施してください。

取り付け要領



1. バンパーの取り外し(図1)

- 1) バンパーの前面開口部のボルト(左右各3個)を取り外します。取り外したボルトは再使用します。

■インテリジェントクリアランスソナーシステム付車およびフォグランプ付車

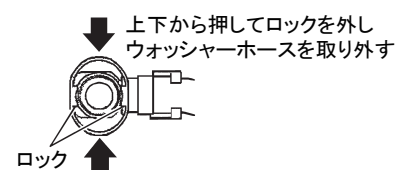
- 2) W/Hコネクターを取り外してください。

■ヘッドランプクリーナー付車

- 3) フロントバンパーカバー裏にある、ジョイントロックを外し、ヘッドランプウォッシャーホースを折り曲げ、液漏れしないように保護テープ等で固定してください。(図2)

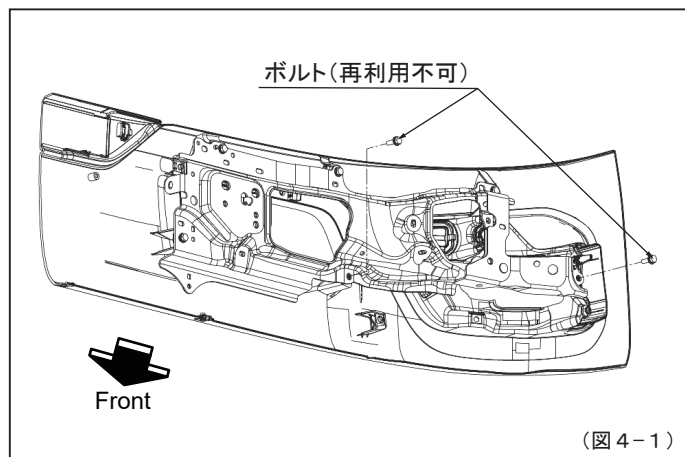
👉 アドバイス

- ・ジョイントロックを外す際、ウォッシャー液を受ける受け皿を準備してください。
- ・ヘッドランプウォッシャーホースは、下図の様に上下を押して取り外してください。



■導風板・空カスパッツ付車

2. 導風板は付けたままにして空カスパッツのみボルト(左右4個)を取り外してください。(図3)



■ 共通

※図は右側を示しています。左側も同様に作業してください。

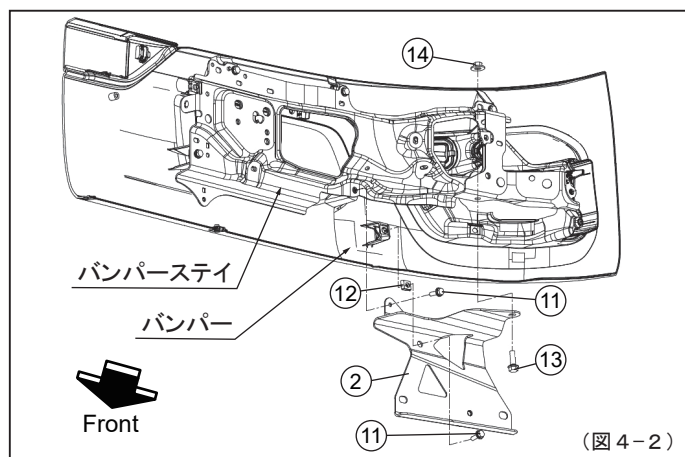
3. ブラケットA②のバンパーステイへの取り付け
 - 1) 取り付け前に、ボルト(2個)を取り外す。
取り外したボルトは再利用不可。
(図4-1)

注 意

バンパーのボルトを取り外す際は、電動工具(インパクト)等で勢いよく外すと、バンパー締結部が破損する可能性がある為、規定トルクの範囲内において、手動工具(ラチェット、レンチ等)で取り外してください。規定トルクで緩まない場合はドライヤーでボルトを温めてください。

<規定トルク>

取り外しトルク : 6 N・m 以下



- 2) ブラケットA②をバンパーステイおよびバンパーへ、ボルト⑪(2個)とボルト⑬、およびナット⑫とナット⑭で組み付ける。

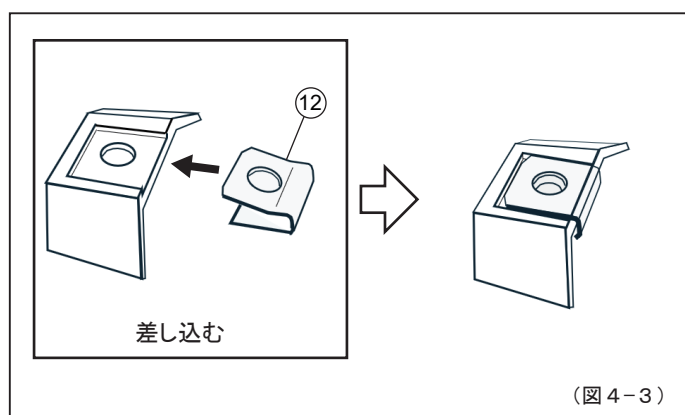
(図4-2)(図4-3)

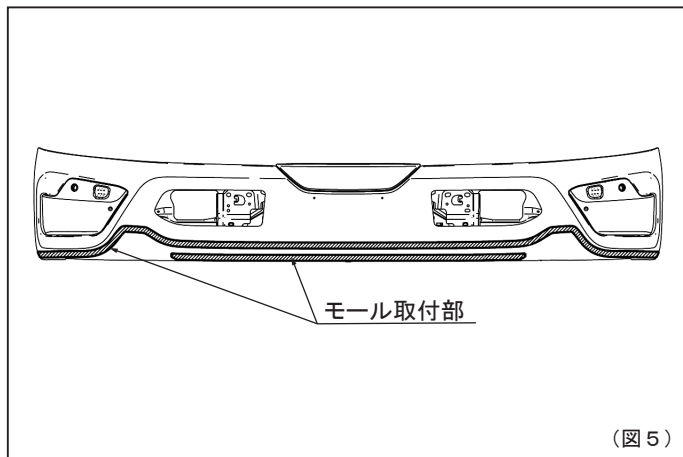
注 意

ボルトの締め付けトルク

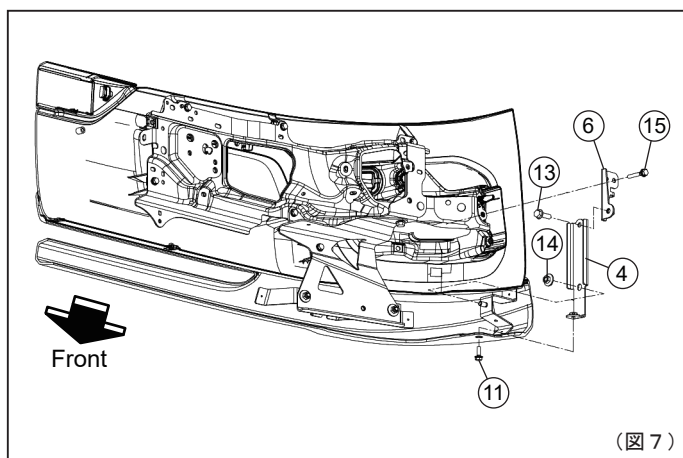
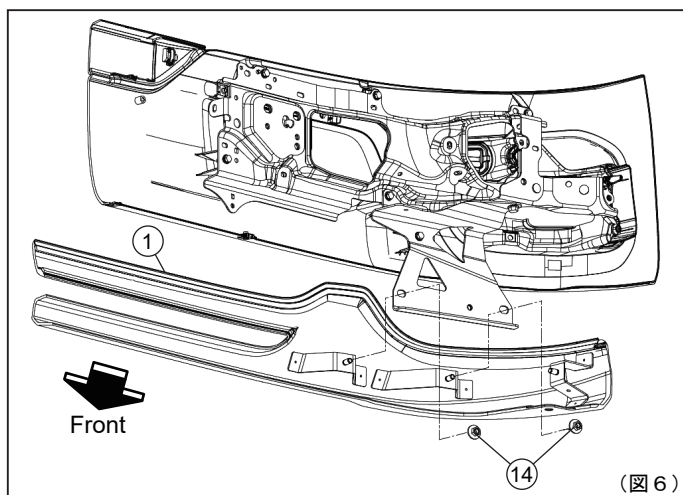
⑪ : $T = 4 \sim 5.8 \text{ N}\cdot\text{m}$

⑬ : $T = 18 \text{ N}\cdot\text{m} \pm 30\%$





現車のバンパー	脱 脂	プライマー
塗 装	○	×
素 地	○	○



4. スポイラーのバンパーアッシーへの組み付け

■素地バンパー車

1) バンパー下部のモール取付部を脱脂材等で脱脂し、プライマーも塗布する。

なお、現車のバンパーが塗装バンパーの場合はプライマーは不要。(図5)

■共通

※図は右側を示しています。左側も同様に作業してください。

2) スポイラー①をナット⑭(2個)で仮締めする。(図6)

3) スポイラーとバンパーにブラケットB④とブラケットC⑥をボルト⑪とボルト⑬とボルト⑮およびナット⑭で仮締めする。

(図7)

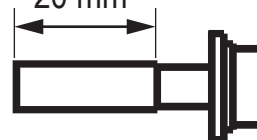
なお、ボルト⑮のネジ部に緩み止め剤(ネジロック剤)を塗布してください。

注 意

緩み止め剤をボルトのネジ山(イラスト部)に塗り漏れなく塗布してください。

ネジ山塗布範囲

20 mm



緩み止め剤：ロックタイト263相当品

- 4) モールの両面テープの剥離紙をはがしてモールとバンパーの位置を確認しながら接着する。
この時バンパーとモールに隙間ができないように手で加圧しながら作業する。

注 意

商品の脱落、はがれを防止するため、気温が 15℃ 以下の場合は両面テープ部または取り付け位置をドライヤー等で人肌程度に温めてから接着作業を行ってください。
両面テープの圧着は 49N 以上で行ってください。49N 以上で圧着しないと、両面テープがはがれ、隙間が発生する恐れがあります。

- 5) 4) の作業完了後、2)、3) で仮締めしたボルト⑪⑬⑮とナット⑭を本締めする。

注 意

ボルトの締め付けトルク

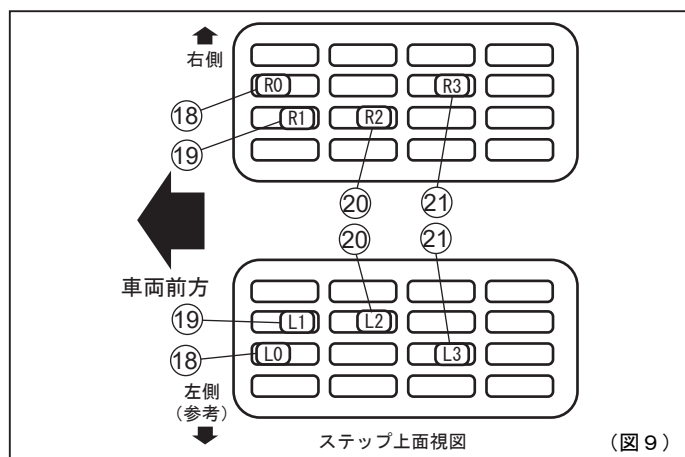
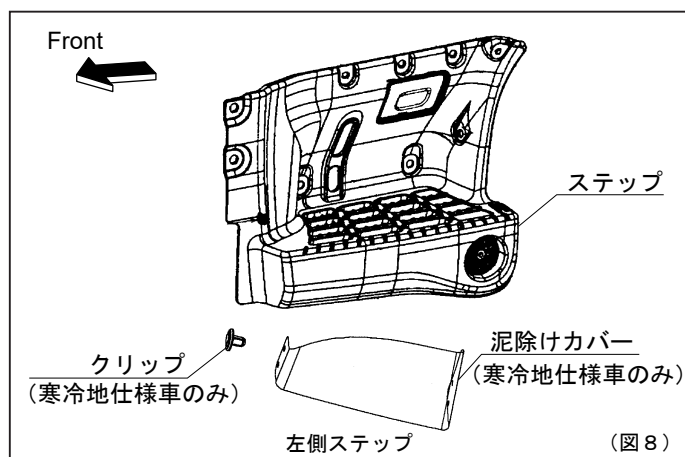
⑪ : $T = 4 \sim 5.8 \text{ N}\cdot\text{m}$

⑬ : $T = 18 \text{ N}\cdot\text{m} \pm 30\%$

⑮ : $T = 4 \sim 5.8 \text{ N}\cdot\text{m}$

ナットの締め付けトルク

⑭ : $T = 18 \text{ N}\cdot\text{m} \pm 30\%$



5. ステップカバーの取り付け
(この作業は車両に付いているステップを外して行います。)※バンパー組み付け前に実施。

- 1) ステップを取り付けているボルト(M6×16)を取り外します。(右側 10 個、左側 8 個)

■寒冷地仕様車

泥除けカバーのクリップをドライバーを使って取り外します。(図 8)

■共通

- 2) 取り外したステップ表面にプライマーを塗布します。

塗布範囲はステップカバー⑯の両面テープが貼付してある範囲です。(図 10)

(プライマーは住友 3M 製 K-500 相当)

- 3) ステップの水抜き穴にプレート⑱とプレート㉑を取り付け、ボルト㉒を仮止めする。

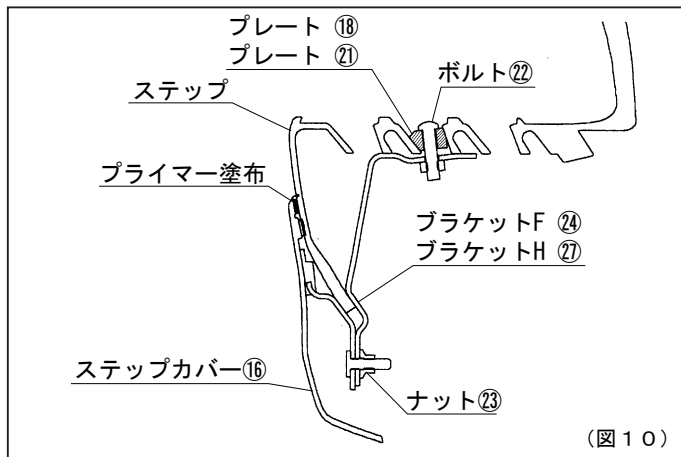
続いてブラケット F ㉔とブラケット H ㉗をステップに当て、ボルト㉒を本締めする。
この時プレートは垂直面がキャブ側に来るようにはめます。

(図 9、図 10、図 11)

注 意

ボルトの締め付けトルク

$T = 18 \text{ N}\cdot\text{m} \pm 30\%$

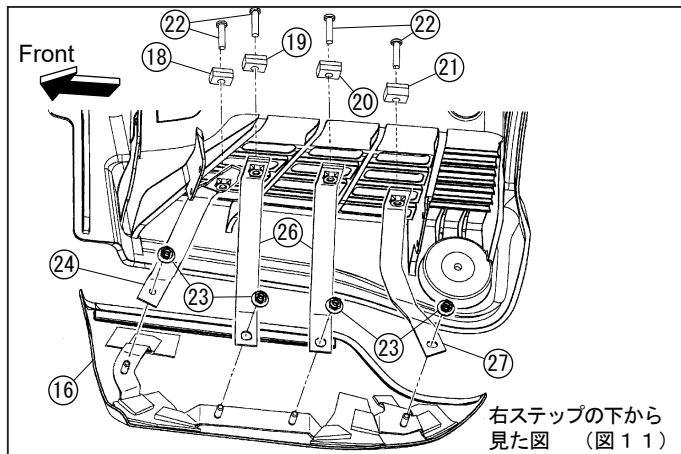


(図10)

- 4) ステップカバー①⑥の剥離紙をはがしてブラケットF②④とブラケットH②⑦をステップカバー①⑥の両端のボルトにナット②③(左右4個)で締め付ける。
この時にブラケットF②④とブラケットH②⑦およびステップカバー①⑥に付いているブラケットでステップを挟み込む。(図10)

注意

ボルトの締め付けトルク
 $T = 18 \text{ N} \cdot \text{m} \pm 30\%$



右ステップの下から見た図 (図11)

- 5) ブラケットG②⑥各2個をステップカバー①⑥に付いているボルト(中央2ヶ所)にナット②③で締め付ける。(図9、図11)

注意

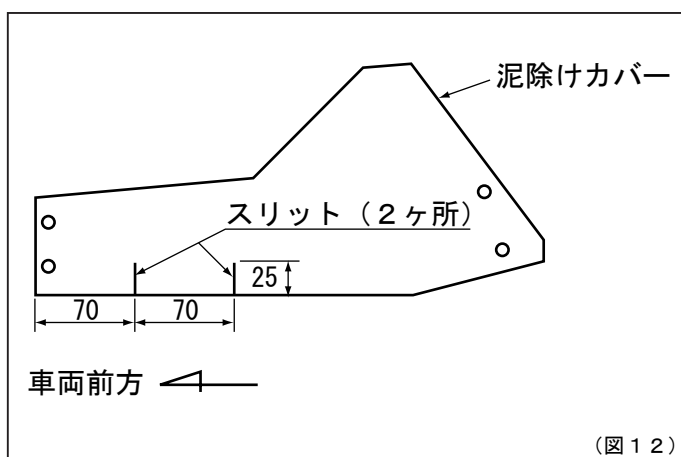
ボルトの締め付けトルク
 $T = 18 \text{ N} \cdot \text{m} \pm 30\%$

- 6) ブラケットG②⑥各2個をステップにあて、ステップにプレート①⑨とプレート②⑩をはめてボルト②②で締め付ける。

この時プレートは垂直面がキャブ側に来るようにはめます。(図9、図11)

注意

ボルトの締め付けトルク
 $T = 18 \text{ N} \cdot \text{m} \pm 30\%$



(図12)

■寒冷地仕様車

- 7) ステップカバーをステップにつけ終わったら、はずしておいた泥除けカバーにハサミ等でスリットを入れクリップで取り付ける。(図12)

■共通

- 8) ステップの取り付け

1)の作業で取り外したボルト(M6×16)を使ってステップカバーを付けたステップを取り付けます。

注意

ボルトの締め付けトルク
 $T = 13 \text{ N} \cdot \text{m}$

6. バンパーの取り外しと逆の手順でスポイラー付きバンパーを車両に組み付ける。

注 意

ボルトの締め付けトルク
 $T = 18 \text{ N}\cdot\text{m} \pm 30\%$

- インテリジェントクリアランスソナーシステム付車およびフォグランプ付車
1) W/Hコネクターを取り付けてください。
- ヘッドランプクリーナー付車
2) ウォッシャーホースを取り付けてください。

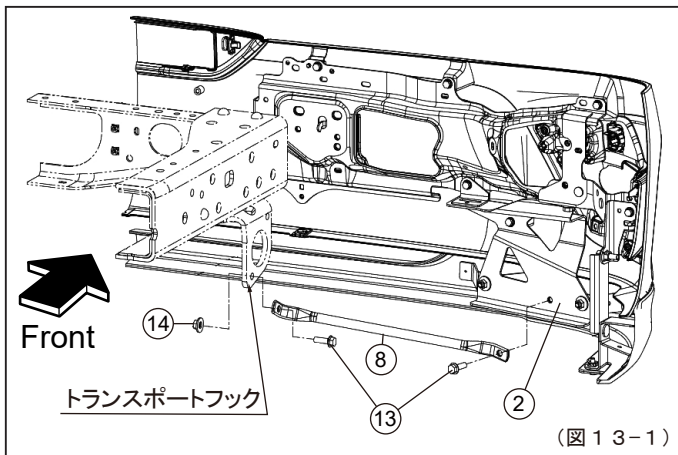
■FUPレス車

7-1. ブラケットD⑧の組み付け

ブラケットD⑧をトランスポートフックとブラケットA②に、ボルト⑬(2個)とナット⑭で組み付ける。(図13-1)

注 意

ボルトの締め付けトルク
⑬ : $T = 18 \text{ N}\cdot\text{m} \pm 30\%$



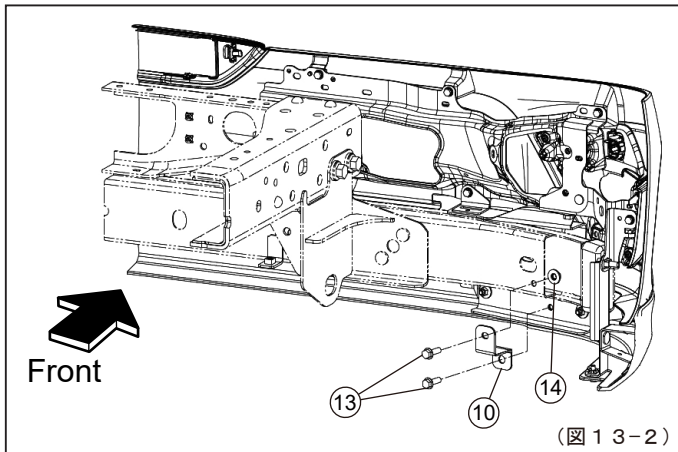
■FUP付車

7-2. ブラケットE⑩の組み付け

ブラケットE⑩をFUP両端部にボルト⑬(2個)とナット⑭で組み付ける。(図13-2)

注 意

ボルトの締め付けトルク
⑬ : $T = 18 \text{ N}\cdot\text{m} \pm 30\%$



取り付け完了後の点検・注意事項

- (1) バッテリーの（－）側ケーブルを接続してください
- (2) フロントフォグランプ、インテリジェントクリアランスソナーシステム等、電気系統が正常に機能するか点検してください。

バッテリー復元時の注意事項

バッテリー復元作業終了後に、車両システムによっては初期化が必要な場合があります。
車両修理書を参考に初期化作業を行ってください。
※車両システムの初期化には、G T S等のツールが必要な場合があります。

周辺監視モニター登録設定について

■インテリジェントクリアランスソナーシステム付車

周辺監視モニター登録設定を行ってください。

修理書内 **周辺監視モニター** > **インテリジェントクリアランスソナーシステム** > **登録設定**を参照ください。

注 意

周辺監視モニター登録設定を行わない場合、周辺監視モニターが正常に作動しない可能性があります。